



THE
F • K • C

FURANO KOTOBUKI COLLEGE

TIMES

富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上 用 眞一郎

小さい秋見つけた

台風の影響もあり、大変蒸し暑い日から一転。朝の最低気温が5℃というのですから身体が環境に対応しきれないのが本音です。皆さんはどうですか。体調は良いですか。

この三連休の3日目は、朝からすっきりとした青空でしたので、ことぶき通信用にと小さな秋を見つけに外に出ました。

この赤い実は、ツリバナの実です。秋になると緑色の実が赤くなり、その実が5つに割れ中から朱色の種子が顔を出すのです。とても可愛いです。



スマホで写真に撮るのが結構大変でした。

それから、草シメジを見つけました。庭の草シメジは傘が丸く、少し離れたところには、傘が平べったく大きく、色も違います。でも味は同じ、とても美味しいです。毎日来るリスのためにクルミも採ってきました。



そこで一句、「はや九月赤い吊り花抜ける空」どうでしょう？…あきです。

さて、今こうして通信を書いているのですが、時刻は18日午前0時36分です。久しぶりに遅い時間となりました。17日は仲秋の名月でした。満月は18日今日です。9月の満月をハーベストムーンと呼んでいて、ハーベストとは収穫という意味です。天気が良かったらと…窓から外を見ますと、南の空に流れの早い雲の間にハーベストムーンが見えました。とっさに「雲がくれにし 夜半の月



かな」と紫式部の歌を思い出しました。

この歌は幼馴染の友人との束の間の再会を詠んだとの一般解釈ですが、この友人とは道長に間違いないと、あらためて部屋の窓から見える満月を眺めて思いました。1000年前の月が今夜も輝いている…

ふうっーと疲れがとれました…

本日 9 月 18 日(水)の日程

9 時 30 分 朝の集い

市民生活部の鶴飼さんからのお知らせ

9 時 50 分 クラブ学習準備

10 時 00 分 **クラブ学習**

12 時 00 分 昼食・休憩

13 時 00 分 「コーラス」「踊り」

14 時 10 分 学年（課題）別研究

15 時 00 分 帰りの集い 演劇練習

寄せ書き作業スタート！

第 37 回
三市町芸能発表交流会



10 月 16 日に開催されます三市町芸能発表交流会のポスターができました。「歓迎」の筆文字は完成しましたので、これから皆さんからの寄せ書きを募集します。

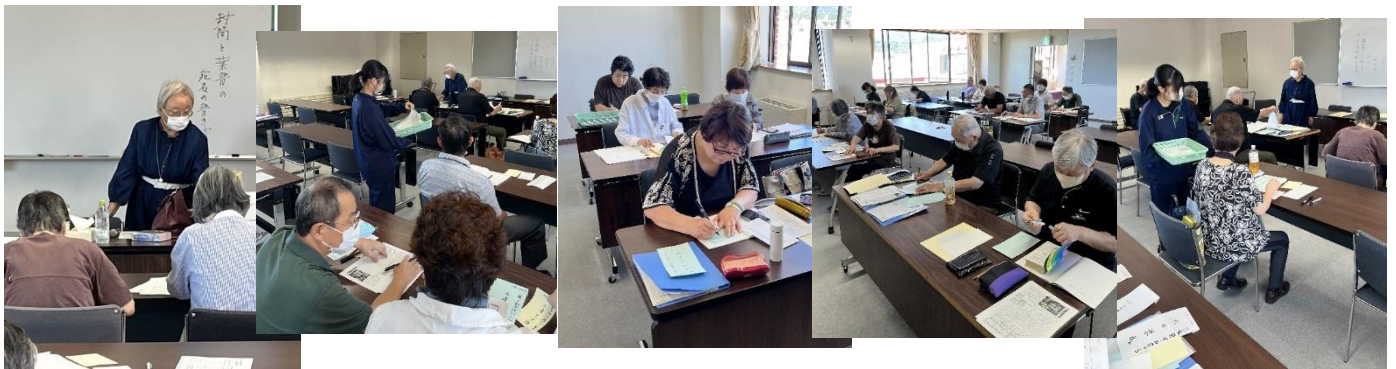
用紙を配布しますが、書き方は自由です。各クラブの協力もお願いします！！

エチケット講座 手紙、封筒・はがきの表書き・裏書き…

前は、インターンシップで緑峰高校 2 年生の中村さんがことぶき大学に来ました。エチケット講座では、資料配りや一緒に宛名書きを、後半は俳句づくりの体験をしました。

午後は、百人一首の歴史について一緒に学び、学年別研究活動では第 2 研究生の演劇活動を見学しました。気が付くと、竹田さんとおしゃべりをしたりして、ことぶき大学の学生の皆さんとコミュニケーションもできたようです。

中村さんの将来への進路について考える機会となれば良いですね。



さて、午前のエチケット講座では、意外に当たり前に書いていた封筒の裏書きですが、中心線より右に住所、左に名前を書くこと、皆さん知っていましたか。また、日付、封じ目など改めて確認することができました。

しかし、この 10 月 1 日より郵便料金がかなり上がります。手紙離れが一層進むだろうと思うのですが、逆に手紙やハガキは希少価値として存在感が生まれることも有り得るかも知れません。手作りの絵手紙で、毛筆で一筆…風流（古きは新しきかな）なやり取りができればとても楽しいものですし、貰った方もそれに応えようとするかも知れません。

私たちは、かつて？大切な人からの手紙を何日も待った経験があるでしょう。約束の時間が過ぎても…何時間も待った経験があったでしょう…「待てない社会」「待たない社会」とも言われる現代社会からの脱却が必要です…メールからたまには手紙も…生活のスピードダウンが必要かも、そんなことをエチケット講座で感じました。

百人一首講座(歴史の謎に触れる)

午後は、百人一首について触れました。藤原定家がどんな人物で、どんな理由で100人の和歌を選んだのか、31文字に秘められた歌人の生涯を知ることによってその和歌が一層美しく聞こえてくると思います。私たちのかるたは下の句かるたですので、自分の好きな札の上の句を知り、その歌人を知ることがで、もっともっと百人一首が楽しくなり、歴史にも興味が湧いてくると思います。

これからも引き続き百人一首について学びを深めていきましょう…

次回9月25日(水)出張講座… 旭川市立大学 須川教授講座

「異文化を理解する(常識ってなんだろう?)」

須川先生からのコメントを記載しました。

「もうだいたい前の話になりますが、旭川大学経済学部にて在学した留学生と食事をしていて、「お箸でご飯を食べていると量がすくなくて…」とこぼします。「どうして?」と、尋ねると、「お国では手でご飯を食べていたので、手の一握りが、一回分ですから、お箸だと、ずいぶん少ないでしょう。」なるほどと感心した覚えがあります。日本のお母さんなら「こら、手で食べるんじゃないよ!」と、叱りそうですね。みなさんはこんなこと考えたことありますか。自分たちの住んでいるこの世界が自分の世界ですから、これと違っていると驚きます。「理解し合う」「わかりあう」ということは、このような違いを乗り越えて、お互いを認め合うことではないでしょうか。これらのことを少し深く考え見ましょう。」

世界を観ると、紛争が絶えまなく続いています。その原因は何でしょうか。須川先生が言う、理解し合う、わかりあう…これを乗り越えることは可能なのでしょうか…

皆さんと一緒に考えてみませんか?

追加します! コーラス練習
10月9日(水)13時~サンエーホール

年間計画にはありませんでしたが、三市町芸能発表交流会一週間前になりますので臨時にコーラスの練習日を設定しました。サンエーホールを使用する練習になりますので、是非、出席してください。



ティー・タイムコーナー



2度目の最優秀を受賞した中田悦菜さん 中田さんの受賞作品



中田さん 全国書道最高賞
旭川西高2年 高良野 静琴書道学院

「流動美」納得いくまで

「流動美」納得いくまで

中田さんは、書道に情熱を注ぎ、日々練習を重ねてきました。その努力が、この素晴らしい作品を生み出したのです。この作品は、流動美と静寂のバランスが絶妙で、見る者の心を捉えます。

中田さんは、書道を通じて、心と心を繋ぐことを目指しています。この作品は、その思いが込められています。

中田さんの受賞作品は、書道界の注目を集めました。この作品は、流動美と静寂のバランスが絶妙で、見る者の心を捉えます。

中田さんは、書道を通じて、心と心を繋ぐことを目指しています。この作品は、その思いが込められています。

書道クラブ講師大橋静琴先生の書道学院に通われている中田さんが第55回全国書道コンクール硬筆の部で最高賞を受賞されました。中田さんの最高賞受賞は2年前の毛筆の部に続き2度目です。

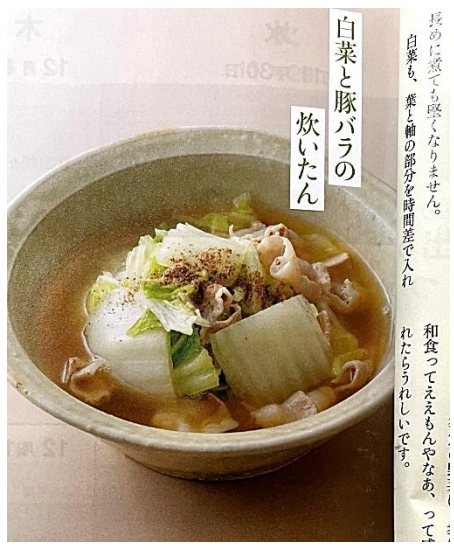
「自分が納得するまで練習をすること」が中田さんの基本姿勢だと言っていますが、いったい納得するまで何枚書くのでしょうか、美しさと技術を超越した時に「これだ!」という一つの作品が生まれるのでしょうか…きっと中田さんでしか体験できない大変貴重なものなのです。

凄いですね。おめでとうございます。
また、第22回ふらの演劇祭のチラシが出来ました。
ことぶき大学は、10月14日(月・祝)午後2時開演のようです。演劇祭は、「ことぶき村の大きなカブ」「還付金詐欺と認知症の老人」「カムバック」そして、昨年の「ドリーム(夢)」に続き「MISSING (ミッシング:行方不明)」は5作目となりました。思い出に残る演劇祭にと、只今がんばって練習しています!
Tea or coffee? and 🍁 源五郎さん、皆さん、一息つきましょー



お薦めのレシピ

白菜と豚バラの炊いたん



- 材料(2人分)
- 白菜・・・400g
 - 豚バラ肉(薄切り)・・・150g
 - A { 水・・・550ml (カップ2と3/4)
 - 酒・・・50ml (カップ1/4)
 - うす口醤油・・・30ml (大さじ2)
 - 一味とうがらし・・・適量

- 白菜は、4cm長さのザク切りにする。豚肉は5cm長さに切る。
 - 深めのフライパンにAを入れ、1の豚肉を加え、再び煮立ったら火を弱め、白菜がしんなりとするまで3~4分間煮る。
 - 汁ごと器に盛り、一味とうがらしをふる。
- (NHK 今日の料理 2023.12 より)